



1 青根の道路改良工事（拡幅し災害に強い道路を作っている様子）
2 健康に関する情報を共有する定例会議の様子
3 社である「敬和、親和、協和」の「三和」を表した事業所ロゴ

4 宅地造成の様子

人が品質をつくり、人が信頼を築く 土木工事で地域の暮らしを支える

三和建設工業(株) 代表取締役社長 佐藤 ひとみ 氏

土木工事を専門とする三和建設工業（中央区南橋本）は、神奈川県を中心とした首都圏で官公庁の公共工事、民間工事の施工管理を手掛けています。大手ゼネコンの一次協力会社として、確かな技術と実績を積み重ねてきました。社員9人の少数精鋭で、上・下水道工事や道路工事、宅地造成などに携わり、地域の人々の生活を支えています。人手不足が指摘される建設業界の中であって、社員の健康増進にも積極的に取り組んでいます。今回は同社の佐藤ひとみ社長に、経営への思いや取り組みについて聞きました。

社員が安心して長く働ける環境づくりを進めています。また現場では、安全・丁寧・高品質な施工はもちろん、『お客さまからまたお願いしたいと思われるような、記憶に残る仕事をしよう』というモットーを掲げています

■土木工事が専門ということですが、具体的にはどのような工事に携わっているのでしょうか？

「上・下水道工事や貯水槽工事、宅地造成、道路工事などに携わっています。公共工事では、道路建設や宅地造成の際に設けられる斜面の崩

れているのは『和』の精神です。社是にも『敬和』『親和』『協和』を掲げており、この三つの『和』を大切にしています。『人が品質をつくり、人が信頼を築く』という考えのもと、

■経営方針についてお聞かせください。

「当社は1968年6月に父が創業し、現在は私が2代目として経営を引き継いでいます。創業時から受け継が

壊を防ぐ工事の施工も行っています。このほか、河川護岸整備や鉄道会社の高架の耐震補強工事なども手掛けています。地域の人々の日常生活と密接に関わる現場で活躍できることは、私たちにとって大きな誇りです。社員は20代から60代までの9人で、このうち8人が土木工事の施工管理全般を担う現場監督として活躍しています」

■健康経営やデジタルツールの活用にも取り組まれていますね。

「数年前から健康経営に取り組み、2023年に『かながわ健康企業』を宣言しました。24年と25年には日本健康会議から『健康経営優良法人』の認定も受けています。現場の社員には心拍数や歩数などを測定できるスマートウォッチを配布しました。さらに2カ月に1回の定例会議で健

康に関する情報を共有し、健康補助食品の購入支援も行っています」

「また、デジタルツールの活用として、施工状況を記録する電子黒板のアプリも導入しました。従来は黒板に手に持った作業員の写真を撮影して記録していましたが、アプリの導入によりスマートフォンなどで撮影・記録・管理を効率的に行えるようになり、現場の負担軽減にもつながっています」

■今後の目標についてお聞かせください。

「当社は、宅地造成を得意としており、これまで長い歴史の中で実績を積み重ねてきました。今後も宅地造成を強みとしてアピールしていきたいと考えています。また、公共工事では、これまで経験のなかった施工にも挑戦しながら技術を磨いてき

ました。これからも土木分野で培ってきた経験と技術を生かし、施工分野の幅を広げていきたいと思っています」

「社員も未知の領域に挑戦することに前向きで、新しい知識や技術の習得に積極的に取り組んでいます。今後も地域住民とのコミュニケーションを大切に、関係先との信頼関係を築きながら新しいことにもチャレンジしていきたいですね。人材面では、新卒採用や中途採用を通じて人材を確保するとともに、多様なスキルを持つ人材の育成にも力を入れていきます」

三和建設工業(株)

〒252-0253
相模原市中央区南橋本3-9-13
TEL: 042-774-5222
<https://sanwakensetu1968.com/>